

2022年度

JPI催しのご案内

医薬品包装セミナー (オンライン配信)

—サステナブルな医薬品包装と安全管理の両立について考える—

【医薬品包装セミナーの参加申し込み方法について】

JPI ホームページ (URL : <https://www.jpi.or.jp/>) より
参加登録をお願いします。

Zoom を利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

日時

令和5年3月10日(金)

主催

公益社団法人日本包装技術協会

プログラム Program

時間	講演内容	講師
13:00 ▼ 13:50	◆『LCA 概論と CO₂ 排出量可視化の取組み』 ・ LCAとは ・ LCAの背景について ・ LCAの視点による違い ・ LCAの構成要素について ・ LCAに必要なデータについて ・ LCAによる包装資材のCO ₂ 排出量可視化 ・ CO ₂ 算定サービス「DNP ライフサイクルCO ₂ 認証システム」のご紹介 ・ 環境配慮デザインチーム「DNP GREEN PARTNER」のご紹介	大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 イノベティブ・パッケージングセンター ビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第2グループ 原田 範夫 氏
14:00 ▼ 14:50	◆『在宅医療・介護現場での服薬管理の実態及び容器・包装に関する問題点と要望』 我が国では高齢化の波と共に医療施設の病床数がひっ迫しており、自宅で療養生活を送る高齢者が急増している。このような中、2000年から始まった介護保険制度を利用する要支援・要介護の認定者も増え、家族のみならず、介護従事者による介護を受ける割合も増加傾向にある。要支援者と要介護者では服薬の自己管理という点で、大きな違いがある。要介護状態の人は自分で服薬管理をすることが困難な人が多く、介護者による服薬介助を受ける割合が増す。介護者には家族介護者の他に職業介護者(ヘルパーなど)がいるが、服薬介助者が必ずしも十分な医薬品の知識を有しているわけではないため、誤薬や管理方法の間違いが問題となっている。現場で起こり得る誤薬には背景に様々な要因があるが、薬のパッケージが酷似していたり、外用薬のデバイスが複雑であったりと、医薬品包装に起因する誤薬も少なくない。今回、在宅医療・介護現場での服薬や服薬管理について、現状と課題を紹介し、医薬品包装によって引き起こされる誤薬や改善点を考える。	さいがケアファルマ合同会社 代表 雑賀 匡史 氏
15:00 ▼ 15:50	◆『医薬品 RFID ソリューション Tag4Link のご紹介』 サトーヘルスケア株式会社、朝日印刷株式会社、大成化工株式会社、藤森工業株式会社、株式会社マイクロ・テクニカ、株式会社UACJ、株式会社UACJ製箔の7社は、RFIDタグを埋め込んだボトルや薬液バッグ、錠剤シートなどを活用することで、医薬品のIDや入出荷の履歴などを、製薬メーカーから卸業者、病院や調剤薬局までサプライチェーンをまたいで、ひと続きでトレース(追跡)できるデモシステムを構築した。今回のデモシステムは、サプライチェーンの皆さまがそれぞれの現場で試用することが可能である。 具体的には、医薬品の製造時に、薬剤を入れるボトルや薬液バッグ、錠剤シートなどにRFIDデータを付与し、その入出荷のデータをブロックチェーンで管理することで、医薬品のトレーサビリティや偽造品のチェックを可能にするものである。RFIDリーダーを使うため、配送時の外箱を開けなくても、情報の一括読み取り、書き込みができ、入出荷業務を正確化・省力化する。将来的には、錠剤シートの開封検知機能と連携した、患者までを含めたトレーサビリティに拡張することを検討している。RFIDによる「正確・省力・安心」の医薬品サプライチェーンの管理により、社会から求められている効率的かつ質の高い医療サービスに貢献していく。	サトーヘルスケア株式会社 営業企画部 部長 須賀 広道 氏 株式会社マイクロ・テクニカ システムソリューション事業部 事業部長 柴崎 誠 氏 株式会社UACJ製箔 営業本部 新製品開発室 主査 加藤 久弥 氏
16:00 ▼ 16:50	◆『薬剤師の業務効率化を志向した包装・表示のあり方』 包装・表示技術は、時代背景に大きく影響を受ける。脱プラスチック・SDGs・トレーサビリティ・封の見直し・医療用医薬品添付文書電子化・CR-SF・IT・AI・ドローン搬送・オンライン服薬指導・薬局対物業務改革など。一方、医薬品包装においては、ユーザーが服用者に限らず薬剤師・看護師・介助者・卸売業者などと多岐に亘る。その中でも薬剤師ニーズの把握は最優先課題となる。今後の医療システム、地域共生社会における薬局・薬剤師像も踏まえつつ、医薬品包装のあり方—PTPシートGS1調剤包装単位コード・錠剤表示・個装箱仕様—についての知見を紹介する。	熊本大学大学院 生命科学研究所 グローバル天然物科学研究センター 医薬品包装学寄附講座・ 特任准教授 岩崎 竜之 氏

講師のご紹介

原田 範夫(ハラダ ノリオ)氏

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 イノベティブ・パッケージングセンター
ビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第2グループ

【ご略歴】

2007年入社。軟包装分野の技術者として包装資材の材料選定、生産効率改善、製品仕様設計等の業務に従事。その後、軟包装の衛生性や含有化学物質の調査業務を経験。現在は環境配慮パッケージング「GREEN PACKAGING」の販促、や環境事業の推進を担い、弊社のCO₂算定サービス「DNP ライフサイクルCO₂認証システム」の立上げに寄与。

岩崎 竜之(イワサキ タツユキ)氏

熊本大学大学院 生命科学研究所 グローバル天然物科学センター
医薬品包装学寄附講座・特任准教授

【ご略歴】

1986年3月 東京理科大学(薬学部)卒業
1988年3月 大阪大学大学院博士前期(応用薬学修士)課程卒業
1988年4月 第一製薬株式会社(生産技術研究所)入社
2021年4月 第一三共エスファ株式会社退社
2021年5月 熊本大学大学院医薬品包装学寄附講座教員として雇用
*有資格
薬剤師(1986)、包装管理士(1992)、包装専士(1993)

須賀 広道(スカ ヒロミチ)氏

サトーヘルスケア株式会社 営業企画部 部長

【ご略歴】

2001年、株式会社サトー入社。
システムエンジニア、商品企画を経て、2016年にサトーヘルスケア株式会社へ配属。
現在、サトーヘルスケア株式会社営業企画部部長。

柴崎 誠(シバザキ マコト)氏

株式会社マイクロ・テクニカ システムソリューション事業部 事業部長

【ご略歴】

2007年 医薬品・食品部門 システム技術 部長
2017年 医薬品・食品部門 事業部長
2022年 システムソリューション事業部 事業部長・副社長

加藤 久弥(カトウ ヒサヤ)氏

株式会社UACJ製箔 営業本部 新製品開発室 主査

【ご略歴】

2010年、住軽アルミ箔株式会社(現・株式会社UACJ製箔)入社。
PTPなどの包装材料に関する生産技術業務・開発業務を経たのち、新製品開発室に配属。
現在は包装材料の開発・技術・販促に携わる。

雑賀 匡史(サイガ マサシ)氏

さいがケアファルマ合同会社 代表

【ご略歴】

平成19年3月 東邦大学院 臨床病態学研究室 卒業
平成19年4月 Canada Edmonton University of Alberta
(カナダ エドモントン州 アルバータ大学)
薬学部 留学
平成21年4月～平成22年8月 山王病院 勤務
平成22年9月～令和元年12月
メディスンショップ蘇我薬局 勤務
令和元年4月～令和四年11月 フクチ薬局 パートタイム労働
令和二年9月 さいがケアファルマ合同会社 設立 代表就任
令和三年3月 さいが居宅介護支援事業所 開業 管理者
*有資格
薬剤師2005年
認知症ケア学会 2014年 認知症ケア専門士 取得
介護支援専門員(ケアマネジャー)2017年 取得
認知症研修認定薬剤師
*著書:
「くすり」を正しく使用していただくために くすりの適正使用
協議会 監修
調剤と情報 新デキる薬剤師をつくる現場の教科書2022.7月
(共著)
みんなの介護 介護の教科書 連載中 など

医薬品包装セミナー企画委員

*本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

- 溝呂木太郎 委員 全業工業(株) OTC開発部 包装企画課 課長
堤 正一 委員 岡田紙業(株) 営業部 部長
小濱 博信 委員 (株)カナエ 開発本部 本部長付
田代 敏一 委員 第一三共プロファーマ(株) 平塚工場 技術管理部 主幹
佐藤 宣男 委員 藤森工業(株) 研究所 ライフサイエンス開発部メディカルソリューション開発グループリーダー
小前 直也 委員 中外製薬(株) 製薬本部 製剤研究部 包装グループ
高森 寛子 委員 大日本印刷(株) 包装事業部 イノベティブ・パッケージングセンター ビジネスデザイン本部 第1部 第3グループリーダー
濱島 利彦 委員 ゼリア新薬工業(株) 生産技術部 課長

開催要領

日時: 令和5年3月10日(金) 13:00 ~ 16:50
(当日は挨拶・プログラム説明等のため5分前に開始します)
※Zoomを利用したオンラインセミナー形式です
申込者には事前登録の手順をメールで連絡します

参加費:

1名分参加費 (配布資料代含む)	会員	会員 (3名割引1名あたり)	一般
本体	16,000円	14,000円	23,000円
消費税10%	1,600円	1,400円	2,300円
税込合計	17,600円	15,400円	25,300円

定員: 100名

参加申込方法と注意事項

【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの医薬品包装セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp/>
- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際**メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ⑤開催5日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

お問い合わせ先: 公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係 担当: 竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「2022年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。